

東北電、大幅減益

昨年の本県沖地震も要因

21年4～12月期

東北電力が31日発表した2021年4～12月期連結決算は、売上高が1兆3989億円(前年同期比9.2%減)、経常利益が103億円(同86.3%減)、純利益が24億円(同95.2%減)の減収減益だった。燃料費上昇分を電気料金に反映させるまでのタイムラグ(時間差)で生じる差損が拡大した。昨年2月の本県沖地震で原町火力発電

東電、赤字410億円に

9年ぶり、燃料高響く

22年3月期予想

東京電力ホールディングスは31日、2022年3月期連結決算の業績予想を下



執行役員 本県出身3人

女川原発所長に阿部氏(本宮)

東北電力は31日決定した4月1日付の役員人事で、増子次郎会長(66)、樋口康二郎社長(64)に国見町出身(58)の福島市出身の阿部正信氏(56)を再任したほか、本県出身の3人を執行役員に新任した。「一面に本記」

海外コンビニ事業注力

セブン&アイ・ホールディングスが、業績が低迷している傘下の百貨店、そのうち西武を売却する検討に

597億5000万円(前年同期比1.2%増)だった。燃料価格の高騰などを受けて、22年3月期の連結業績予想を下方修正し、純損益を230億円の黒字から450億円の赤字に引き下げた。13年3月期以来、9年ぶりの赤字決算となる見込みがある」と述べた。

9年ぶりとなる。燃料高で調達コストが上昇したのに加え、自前の発電所を持たずに市場で電力を調達する「新電力」に絡む特別損失の計上も響いた。特別損失は、新電力が調達した電力の費用を一部負担するために163億円を計上した。昨冬に寒波で電

小水力発電所を開所

福島最大出力50キロワット未満県内初

福島地方水道用水供給企業団は、福島市飯坂町のすりかみ浄水場から放流される水道水を活用した小水力発電事業を行う。発電開始にあわせ、31日には現地で開所式が行われた。企業団によると、水道水をエネルギーとした最大発電出力50キロワット未満の小規模な発電所の開所は、県内で初という。発電所は、福島機工(福島市)とDK-POWER(大阪府吹田市)が共同で開発し、福島市の福島増庄ポンプ所内に設置した。運営は、市から委託を受けた面社が担う。年間発電量は、一般家庭約93戸に相当する約402キロワット時で、発電し



た電気は東北電力に売電する。収益の一部は、水道事業に還元される。浄水場と発電所間にある約60メートルの高差で生じる水圧を利用して発電する。クリーンエネルギーによる発電のため、二酸化炭素(CO2)の排出量が少ないことが特長となっている。開所式では、福島機工の阿部吉文社長が「発電所の開所でのさらなる発展に貢献したい」とあいさつした。企業団企業長の木幡浩福島市長が「再生可能なエネルギーを利用した福島ならではの取り組みで、環境の保全に努めていきたい」と述べた。

商品BOX

宇宙帰りの酵母で純米吟醸 夢心酒造(喜多方市)は31日までに、宇宙から帰還した「宇宙帰りの酵母」を使った限定商品「純米吟醸 夢心酒」を発売した。夢心酒は、宇宙から帰還した酵母を利用し、37日間を無



身が常務支社統轄、配電部長の赤川博之氏(54)に白河市出身の執行役員配電部長に新任される。東北電力人事(4月1日) ◇会長(会長) 増子次郎 ◇社長(社長) 樋口康二郎 ◇執行役員(社長) 樋口康二郎 ◇執行役員(社長) 樋口康二郎 ◇執行役員(社長) 樋口康二郎

同日発表した21年4～12月連結決算は売上高が前年同期比14.6%減の3兆5035億円、純利益は92.5%減の98億円だった。今期から新たな会計基準を採用しており、増減率は参考値として示した。

同日発表した21年4～12月連結決算は売上高が前年同期比14.6%減の3兆5035億円、純利益は92.5%減の98億円だった。今期から新たな会計基準を採用しており、増減率は参考値として示した。

1月消費者心理

内閣府が31日発表した1月の消費動向調査によると、向こう半年間の消費者心理を示す消費者態度指数

生活応援

1日、春の新生活を始める。対象者の中から抽選4月分をキャッシュバック。31日まで。キャンペーン口座に「給与振込」月末までに月額5万円振り込みが確認できる。福銀イを契約した人が、キャンペーン口座に入金する。同行本支店か個人(076-2940)へ。

5年ぶり増

国土交通省が31日発表2021年の新設住宅着数は前年比5.0%増の6484戸となり、5年を上回った。新型コロナウイルスの影響で大きく減少した。2017年と比べて増加した。5年連続で上回った。

Table with market data: 金相場, 商品相場, 支内, 全農, 鶏卵, 東洋